

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	仙台白百合女子大学
設置者名	学校法人白百合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
人間学部	人間発達学科 心理福祉学科 健康栄養学科 グローバル・スタ ディーズ学科		16 単位	—	—	16 単位	13 単位	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページに掲載 URL: <a href="https://sendai-shirayuri.ac.jp/">https://sendai-shirayuri.ac.jp/</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	仙台白百合女子大学
設置者名	学校法人白百合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学園のホームページに公表 <a href="http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/staff1_r4_0501.pdf">http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/staff1_r4_0501.pdf</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2015.7.24- 2025.7.23	法務
非常勤	社会福祉法人役員	2020.1.1- 2024.12.3	医療福祉従事者の 視点からの助言
(備考) 非常勤理事の任期は5年である。 1. については2020.7.24-2025.7.23の任期で再任されている。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	仙台白百合女子大学
設置者名	学校法人白百合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>																													
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>科目担当教員へ「授業の目的(ディプロマ・ポリシーとの関連)」「授業の概要」「授業の受け方・勉強の仕方」「受講に当たってのルール」「授業計画と予習・復習の内容及び必要な時間」「評価方法(テスト・レポート・課題等へのフィードバックも含む)」等を明記するよう依頼し、ホームページの公開及び授業での配付を行っている。なお、作成スケジュールは下記の通り。</p> <p>&lt;作成過程&gt;</p> <p>① 3月上旬、教務課より教員にシラバス作成依頼の案内</p> <p>② 3月下旬、シラバス提出時、教員によるシラバス自己チェック</p> <p>③ 3月下旬、シラバス提出締切</p> <p>&lt;公表&gt;</p> <p>4月初旬公開</p>																													
授業計画書の公表方法	本学ホームページによる公表 : <a href="https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty/syllabus/html/syllabus.html">https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty/syllabus/html/syllabus.html</a>																												
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>																													
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修成果の把握は、進級システムを設けている。各学年で定められた修得単位数またはGPAに満たない学生に対し、学科長、アドバイザー等による個別面談にて進級指導を行っている。また、GPA制度を導入しており、ホームページ記載の「履修方法及び単位認定等に関する規程」第21条において、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は学期末に行われる、ただし、2学期以上にまたがる科目については、その科目が完了した時点で行われる。</li> <li>・成績は、各授業の到達目標に基づいて、100点を満点とした素点で評価される。ただし、欠席過多や課題未提出、試験未受験などのため素点による評価が不能である場合には、素点ではなくFの評価をつけることができる。</li> <li>・素点に基づき、評価の区分、およびグレードポイント(GP)を次のように定める。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>GP</th> <th>素点</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「S」</td> <td>4</td> <td>90点以上</td> <td>到達目標に対して極めて優れた達成度である。</td> </tr> <tr> <td>「A」</td> <td>3</td> <td>80点～89点</td> <td>到達目標に対して優れた達成度である。</td> </tr> <tr> <td>「B」</td> <td>2</td> <td>70点～79点</td> <td>到達目標に対して十分に満たしている。</td> </tr> <tr> <td>「C」</td> <td>1</td> <td>60点～69点</td> <td>到達目標に対して、必要最低限の達成度である。</td> </tr> <tr> <td>「D」</td> <td>0</td> <td>60点未満</td> <td>到達目標を満たしていない。</td> </tr> <tr> <td>「F」</td> <td>0</td> <td></td> <td>評価不能。</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前項で定めたGPに基づき、その平均値を求めたものをGPAとし、その学生の総合的な成績評価として用いている。</li> </ul>		評価	GP	素点	評価基準	「S」	4	90点以上	到達目標に対して極めて優れた達成度である。	「A」	3	80点～89点	到達目標に対して優れた達成度である。	「B」	2	70点～79点	到達目標に対して十分に満たしている。	「C」	1	60点～69点	到達目標に対して、必要最低限の達成度である。	「D」	0	60点未満	到達目標を満たしていない。	「F」	0		評価不能。
評価	GP	素点	評価基準																										
「S」	4	90点以上	到達目標に対して極めて優れた達成度である。																										
「A」	3	80点～89点	到達目標に対して優れた達成度である。																										
「B」	2	70点～79点	到達目標に対して十分に満たしている。																										
「C」	1	60点～69点	到達目標に対して、必要最低限の達成度である。																										
「D」	0	60点未満	到達目標を満たしていない。																										
「F」	0		評価不能。																										

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各科目の評価はGrade Point (GP) に変換され、単位数によって重みづけられた平均値であるGPA (Grade Point Average) の算出に用いられる。</p> <p>GPA 算出式</p> $\text{GPA} = \frac{(\text{GP} \times \text{単位数}) \text{ の合計}}{\text{単位数の合計}} \quad (\text{小数点以下第 3 位を四捨五入})$ <p>GPA の種類</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 通算 GPA 入学年度から当該年度・学期までの GPA</li> <li>(2) 年度 GPA 当該年度の GPA</li> <li>(3) 学期 GPA 当該学期の GPA</li> </ol> <p>なお、科目の性質上、GPA の算出にふさわしくない一部の科目については、GPA の算出から除外される。</p> <p>上記算出に基づき、進級指導システムにおいて規定単位以下または GPA2.00 以下の学生は、学年末に個別面談による進級指導が各学科により実施される。</p> <p>また、前年度の GPA に基づき 2 年から 4 年生の成績優秀者へ学業成績優秀者奨励金を給付している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本学ホームページによる公表</p> <p><a href="https://www.sendai-shirayuri.ac.jp/faculty/pdf/unit_recognition_rule_2022.pdf">https://www.sendai-shirayuri.ac.jp/faculty/pdf/unit_recognition_rule_2022.pdf</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 建学の精神に則り、カトリック及びキリスト教について理解しており、その精神に基づいた世界観や人間観及び知識・能力を身につけていることを学位授与とする。</li> <li>(2) 建学の精神に則り、全面的・調和的に発達した人間性や幅広い教養と豊かな感性を持ち、創造力、判断力、実践力を有するとともに、人間の真の幸福・平和・福祉に貢献できる女性となることを学位授与の条件とする。</li> <li>(3) 人間として提供する人間の理解や援助に関する専門的知識と社会の変化に積極的に対応しえる判断力・思考力・実践力を持っていることを学位授与の条件とする。</li> </ol> <p>なお、卒業認定は、卒業判定教授会の議を経て学長が行う。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>本学ホームページによる公表</p> <p><a href="https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty/msg.html">https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty/msg.html</a></p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	仙台白百合女子大学
設置者名	学校法人白百合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/bs03.pdf">http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/bs03.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/financial03.pdf">http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/financial03.pdf</a>
財産目録	<a href="http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/inventory03.pdf">http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/inventory03.pdf</a>
事業報告書	<a href="http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/project03.pdf">http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/project03.pdf</a>
監事による監査報告(書)	<a href="http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/audit03.pdf">http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/audit03.pdf</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 公表方法: 本学ホームページに掲載 <a href="https://sendai-shirayuri.ac.jp/info/juaa.html">https://sendai-shirayuri.ac.jp/info/juaa.html</a>
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 本学ホームページに記載 <a href="https://sendai-shirayuri.ac.jp/info/juaa.html">https://sendai-shirayuri.ac.jp/info/juaa.html</a>
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人間学部
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページによる公表） <a href="https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty/msg.html">https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty/msg.html</a>
（概要） 人間学部は、本学の教育理念であるキリスト教精神に基づく「人間の理解と援助」「社会変化への積極的対応」を実現するために、人間・人間の営為・人間社会の多面的な教育研究を行い、各々の領域でリーダーシップを発揮できる女性の育成を目的としている。
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページによる公表） <a href="https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty/msg.html">https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty/msg.html</a>
（概要） (1) 建学の精神に則り、カトリック及びキリスト教について理解しており、その精神に基づいた世界観や人間観及び知識・能力を身につけていることを学位授与とする。 (2) 建学の精神に則り、全面的・調和的に発達した人間性や幅広い教養と豊かな感性を持ち、創造力、判断力、実践力を有するとともに、人間の真の幸福・平和・福祉に貢献できる女性となることを学位授与の条件とする。 (3) 人間として提供する人間の理解や援助に関する専門的知識と社会の変化に積極的に対応しえる判断力・思考力・実践力を持っていることを学位授与の条件とする。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページによる公表） <a href="http://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty/msg.html">http://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty/msg.html</a>
（概要） 本学のディプロマ・ポリシーに掲げるカトリック・キリスト教精神に基づく世界観や人間観及び幅広い教養と専門的知識の修得のために、以下の方針に基づき人間学部のカリキュラムを編成する。 (1) 本学の教育目標に基づく学びとして、学科の枠を超えて学部共通科目を設置する。この学部共通科目には、建学の精神に関する科目、基礎教育科目、教養共通科目、グローバル化に関する科目、キャリア科目を置く。この科目群の中に、本学の初年次教育の主要な科目を配置し、キリスト教学や基礎教育科目としての基礎ゼミ、日本語表現、情報科目等を必修とする。(2) 人間・文化・自然に対する幅広い知識と素養を身に付けるための教養共通科目には、人文科学、社会科学、自然科学（健康スポーツ領域を含める）からなる科目を置き、多様かつ総合的な理解力を培う学びを進める。また、グローバル化に関する科目には、英語等外国語を学ぶ科目に加えて国際関係や異文化理解に関わる科目を置く。(3) 各学科には、学科の専門分野を学び、専門的な知識・技能を習得するための専門科目を体系的に置き、併せて資格取得のための諸課程を設置する。また、所属学科以外の専門分野を学ぶことができるように、関連科目として他学科に専門科目の一部を提供する。(4) 演習・実習、フィールドワーク、海外研修、留学、インターンシップ等、学内外での体験・実践を通じて能動的・自律的に学修する機会を設ける。(5) 学生の主体的な学修を進めるために、履修順序、内容レベル、時間割編成に配慮し、少人数のクラス編成及びきめ細かな授業の展開・方法を図る。(6) 学部共通科目及び専門科目等すべての科目について、学生の学修が適切に進むように、各科目の到達目標に基づいて学生の知識・技能等の能力を総合的に評価する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページによる公表） <a href="https://sendai-shirayuri.ac.jp/admission/enroll_accept.html">https://sendai-shirayuri.ac.jp/admission/enroll_accept.html</a>

(概要)

本学の建学の理念と教育目的を理解し、人間や社会に対して深い興味・関心を持ち、勉学への強い意欲と探究心のある学生、加えて、自己表現力やコミュニケーション能力を高めるために、また、自分の夢や希望を叶えるために、積極的に行動し物事に向かっていくチャレンジングな学生を求めます。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学ホームページに掲載

[https://sendai-shirayuri.ac.jp/guide/issue\\_corner.html](https://sendai-shirayuri.ac.jp/guide/issue_corner.html)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
人間学部	—	23人	17人	10人	1人	0人	51人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		111人					111人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： <a href="https://sendai-shirayuri.ac.jp/guide/teachers_gyoseki.html">https://sendai-shirayuri.ac.jp/guide/teachers_gyoseki.html</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人間学部	285人	195人	68%	1,170人	899人	77%	15人	9人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	285人	195人	68%	1,170人	899人	77%	15人	9人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人間学部	228人 (100%)	4人 (1.8%)	192人 (84.2%)	32人 (14.0%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	228人 (100%)	4人 (1.8%)	192人 (84.2%)	32人 (14.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
東北大学大学院、宮城大学大学院 日本通運株式会社、カメイ株式会社、国分東北株式会社、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社、イオン東北株式会社、イオン北海道株式会社、株式会社すかいらくホールディングス、株式会社スズキ自販宮城、株式会社ツルハ、ネットヨタ仙台株式会社、株式会社ヤマダホールディングス、株式会社七十七銀行、第一生命保険株式会社、株式会社東邦銀行、日本生命保険相互会社、白石食品工業株式会社、株式会社アイティ・コミュニケーションズ、エームサービスジャパン株式会社、株式会社グリーンハウス、株式会社KDDIエボルバ、株式会社JR東日本サービスクリエーション、日清医療食品株式会社、リゾートトラスト株式会社、IMS（板橋中央総合病院）グループ、将道会 総合南東北病院 地域医療機能推進機構（JCHO）、みやぎ県南中核病院企業団、仙台白百合学園幼稚園、仙台YMCA幼稚園、なとり認定こども園、南光紫陽幼稚園、わかくさ幼稚園、想伝舎、たちばな会、未来福祉会、宮城県福祉事業協会、愛泉会、湖星会（宮城事業部）、仙台市手をつなぐ育成会、宮城福祉会、岩手県一関市、				

宮城県白石市、仙台市、防衛省・自衛隊、宮城県、宮城郡松島町、宮城県栗原市、川崎市教育委員会、仙台市教育委員会、新潟市教育委員会、福島県教育委員会、宮城県教育委員会、山形県教育委員会、横浜市教育委員会 など
(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 学生は履修科目登録日までに、学年始めのガイダンスやシラバス（授業概要）を参考にして授業に出席しつつ、履修する授業科目を決める。 本学の授業科目の履修は「大学設置基準」（文部科学省）に定められた単位制に基づいて行われる。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 成績評価は学期末に行われる、ただし、2 学期以上にまたがる科目については、その科目が完了した時点で行われる。 成績は、各授業の到達目標に基づいて、100 点を満点とした素点で評価する。素点に基づき、評価区分及びグレードポイントを定める。 卒業の認定は、卒業判定教授会の議を経て学長が行う。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人間学部	人間発達学科	124 単位	☑・無	48 単位
	心理福祉学科	124 単位	☑・無	48 単位
	健康栄養学科	124 単位	☑・無	48 単位
	グローバル・スタ ディーズ学科	124 単位	☑・無	48 単位
G P A の活用状況（任意記載事項）		公表方法： <a href="https://sendai-shirayuri.ac.jp/info/bursary.html">https://sendai-shirayuri.ac.jp/info/bursary.html</a> 「学業成績奨励金」		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：URL:本学ホームページに記載 <a href="https://sendai-shirayuri.ac.jp/laboratory/index.html">https://sendai-shirayuri.ac.jp/laboratory/index.html</a>
---

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
人間学部 (1年)	人間発達学科 心理福祉学科 グローバル・ス タディーズ学科	740,000円	240,000円	240,000円	維持費
	健康栄養学科	740,000円	240,000円	250,000円	施設設備費 維持費
人間学部 (2～4年)	人間発達学科 心理福祉学科 グローバル・ス タディーズ学科	740,000円	0円	370,000円	施設設備費 維持費
	健康栄養学科	740,000円	0円	390,000円	施設設備費 維持費
人間学部 (1～4年)		0円	0円	30,000円	休学中の在籍料 半期

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 各学科における授業の補いや、様々な勉強会の開催を支援している。4月及び9月にカリキュラムや講義に対する不安要素を減らすべく履修相談を実施している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 大学生活では、将来を見据えて目標を持ち、人生設計すなわちキャリアデザインを形成することが大切である。キャリアセンターでは、3年生の前期から各種ガイダンスを実施しており、学科担当制による専任スタッフやキャリアカウンセラーが、学生の進路や、就職・就職活動における疑問や不安などの相談に随時応じている。 仙台白百合女子大学の学生として、また、卒業後の社会人として必要な基礎力や人間力を身に付けられるよう、一人ひとりの夢や希望を大切にしながら、学生のキャリアデザイン構築を支援している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 心身の健康保持・増進については、有資格の専任職員が保健室を担当し、校医とともに学生の健康に配慮し、毎年学年始めに健康診断を実施している。学生相談室は、臨床心理士等の専任教員と非常勤のカウンセラーが担当している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学ホームページ URL <a href="https://sendai-shirayuri.ac.jp">https://sendai-shirayuri.ac.jp</a>
---

第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F104310100969
学校名	仙台白百合女子大学
設置者名	白百合学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		82人	81人	87人
内 訳	第Ⅰ区分	36人	39人	
	第Ⅱ区分	31人	28人	
	第Ⅲ区分	15人	14人	
家計急変による支援対象者（年間）				4人
合計（年間）				91人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	4人		
計	4人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	13人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	13人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。